



2019年

4.13(土) - 4.21(日)

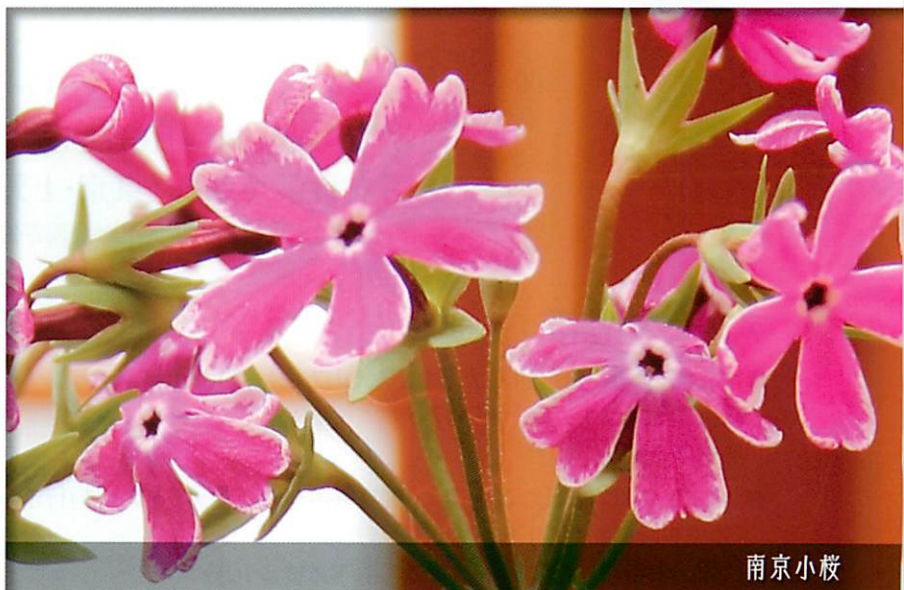
国立科学博物館 筑波実験植物園

[開園時間] 9:00~16:30(入園は16:00まで)
※15日(月)休園

[入園料] 一般: 310円 ※21日(日)は入園無料
(20名以上の団体: 250円)

高校生以下および65歳以上: 無料

障害者手帳をお持ちの方
およびその介護者1名: 無料



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

植物多様性を知る・守る・伝える
筑波実験植物園
Tsukuba Botanical Garden

主催: 国立科学博物館 筑波実験植物園
筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター

協力: 筑波大学大学院生命環境科学研究科育種学分野、
筑波大学さくらそう里親の会、NPO つくばアーバンガーデニング

コレクション特別公開 さくらそう品種展

100品種を超える、日本屈指の展示数

江戸時代から受け継がれる日本の伝統園芸の粋をご覧ください。

日本人が古くから愛で、独自の美意識と選抜眼で数多くの園芸品種を作り出してきた古典的園芸植物群は、文化的遺産としてとらえることができます。

さくらそうは、野生種の栽培と鑑賞が室町時代に京都の宮廷文化で始まり、江戸時代に多くの園芸品種が作り出されました。その育種過程の詳細は不明でしたが、最近の遺伝子解析により園芸品種の起源となった集団が明らかになっています。今回の展示では、さくらそうの園芸品種を通して、日本人が野生の植物の様々な遺伝的特性に気づき、愛で、育んできた歴史があることをお伝えします。

＊展示

- 桜草花壇
- さくらそう展示台
- パネル展示
 - さくらそう園芸品種の由来
 - さくらそう園芸品種の成立
 - さくらそう栽培の歴史
- さくらそう人気投票の開催

＊販売

- さくらそう販売 (お一人当たりの個数制限があります)
- クリアファイル、一筆せん



桜草花壇
江戸時代から続く伝統的な鑑賞方法で、さくらそうの美しさをより引き立たせるために考案されました。



園芸品種「北斗星」



園芸品種「薄蛇の目」



園芸品種「美女の舞」



野生のサクラソウ
数百種あるさくらそう園芸品種は、わずか1種の野生種から作出されてきました。

関連イベント

「日本人が育んださくらそうの文化史」

期間：2019年4月6日(土)～4月14日(日) ※4月8日(月)休館

国立科学博物館(東京・上野公園)中庭

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20 TEL 03-5777-8600



アクセス情報

- 常磐自動車道 桜土浦I.C.から北(筑波山方面)へ約8km
圏央道 つくば中央I.C.から約7km
無料駐車場約120台
- つくばエクスプレス「つくば」駅より関東鉄道バス「テクノパーク大穂」行き
「筑波実験植物園前」下車徒歩3分 または
筑波大学循環(左回り)「天久保2丁目」下車徒歩10分
〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1
TEL 029-851-5159 <http://www.tbg.kahaku.go.jp/>



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

植物多様性を知る・守る・伝える
筑波実験植物園
Tsukuba Botanical Garden